

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21122	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(水道整備課分)	公営企業局	水道整備課	2
21122	(工水)震災対策事業(施設耐震化)	公営企業局	水道整備課	3
21122	(簡水・中島)簡易水道施設整備事業	公営企業局	水道整備課	4
51211	(上水)施設更新・改良事業(水道整備課分)	公営企業局	水道整備課	5
51211	(上水)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	公営企業局	水道整備課	6
51211	(簡水・中島)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	公営企業局	水道整備課	7
51211	(簡水・北条)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	公営企業局	水道整備課	8
51211	(工水)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	公営企業局	水道整備課	9
53323	(上水)漏水防止対策事業(水道整備課分)	公営企業局	水道整備課	10

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(水道整備課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
21122								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	災害等に強いまちをつくる		○	○	○	-		
施策	防災対策等の推進							
主な取組	市有施設の耐震化	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019					
取組みの柱	上下水道施設の耐震化							
目的・背景	東日本大震災では、水道施設が甚大な被害を受け、市民生活や都市活動に大きな影響があった。近い将来には、南海トラフ地震の発生が懸念されることから、災害時でも水道水を確保できるよう水道施設の耐震化を図る。							
対象・内容	基幹管路(導水管・送水管・配水本管)、主要な配水池、重要施設への給水ルートの耐震化及び応急給水拠点の整備を行う。 ・耐震化工事に伴う測量設計等の委託を実施 ・耐震化工事を実施							

2.事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出ほか	項	水道建設改良費ほか	目	水道施設整備事業費ほか
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	3,534,004	3,467,460	4,905,067		主な経費 (千円) 【R5 決算】	基幹管路の耐震化		1,413,595
	国費・県費						給水ルートの確保		214,160
	市債	2,529,342	1,926,747	2,525,200			応急給水栓の設置		101,336
	その他	200,667	184,499	94,148					
	一般財源	803,995	1,356,214	2,285,719					
決算 (千円)	事業費計	1,938,084	1,743,214			主な取組 内容 【R5】	・基幹管路の耐震化工事 ・重要施設への給水ルート確保の工事 ・応急給水栓の設置工事		
	国費・県費								
	市債	1,348,800	1,086,500						
	その他	70,800	31,500						
	一般財源	518,484	625,214						
	(執行率)	55%	50%						
人役	正規職員	14.4	14.5	17.4		特記 事項	1,578,200千円をR5年度からR6年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	14.4	14.5	17.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	基幹管路の耐震化整備 延長	目標	30.0	30.0	30.0	30.0	整備中のため、現時点では未達成となっている。		
		実績	15.8	18.1					
	累計で増	km	達成率	52.7%	60.3%				
成果 指標	基幹管路の耐震適合率	目標	41.0	41.0	48.0	48.0	事業を積極的に推進してきたことで、目標を達成できた。		
		実績	41.5	41.7					
	累計で増	%	達成率	101.2%	101.7%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画的に耐震化を進めており、毎年度着実に実績をあげているため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	計画的に事業を進めることで、成果が上がっているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(工水)震災対策事業(施設耐震化)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21122		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	根拠法令	松山市工業用水道事業経営戦略				
政策	災害等に強いまちをつくる						
施策	防災対策等の推進		○	-	-	-	
主な取組	市有施設の耐震化						
取組みの柱	上下水道施設の耐震化						
目的・背景	工業用水道施設は、昭和27年の給水開始から約70年が経過し、管路などの老朽化が進んでいる。近い将来には、南海トラフ地震の発生も懸念されることから、ユーザーへ安定的に給水するため施設の耐震化を図る。						
対象・内容	工業用水道施設の耐震化を行う。 ・耐震化工事に伴う測量設計等の委託を実施 ・耐震化工事を実施						

2. 事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	資本的支出ほか	項	工業用水道建設改良費ほか	目	工業用水道施設整備事業費ほか
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主要な経費(千円)【R5決算】	工業用水管路(かきつばたφ700)の耐震化		692,765
予算(千円)	事業費計	674,193	1,202,800	936,366					
	国費・県費								
	市債	200,000	400,000	300,000					
	その他								
	一般財源	474,193	802,800	636,366					
決算(千円)	事業費計	38,692	692,765			主要な取組内容【R5】	・工業用水管路の耐震化工事 ・工業用水管路の耐震化工事に伴う測量設計委託		
	国費・県費								
	市債		200,000						
	その他								
	一般財源	38,692	492,765						
(執行率)	6%	58%							
人役	正規職員	2.1	2.8	3.3		特記事項	334,200千円をR5年度からR6年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	2.1	2.8	3.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和12年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工業用水管路の耐震化整備延長	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	整備中のため、現時点では未達成となっている。		
		実績	6.9	7.3					
	累計で増	km	達成率	69.0%	73.0%				
成果指標	工業用水の管路耐震適合率	目標	30.0	30.0	30.0	35.0	目標値の達成に向け、計画的に事業を推進している。		
		実績	23.8	24.5					
	累計で増	%	達成率	79.3%	81.7%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画的に耐震化を進めており、毎年度着実に実績をあげているため。							
課題	松山外環状道路整備事業にあわせて工業用水管路を布設することから、その進捗によって本事業の進捗も影響を受ける。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	計画的に事業を進めることで、成果が上がっているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・中島)簡易水道施設整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21122		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	根拠法令	松山市簡易水道事業経営戦略				
政策	災害等に強いまちをつくる		○	○	○	-	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	市有施設の耐震化						
取組みの柱	上下水道施設の耐震化						
目的・背景	中島地区では、水道管からの漏水が頻発するなど、簡易水道施設の老朽化が進んでいることから、安定給水を確保するため計画的に管路などの更新を行う。						
対象・内容	中島地区簡易水道施設の整備を行う。 ・老朽管路更新工事を実施 ・管路更新工事完成後、路面復旧工事を実施						

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道資本的支出	項	簡易水道建設改良費	目	簡易水道施設整備事業費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	中島簡水の水道施設整備(東中島地区配水管整備)		83,590
予算(千円)	事業費計	185,415	167,920	241,065					
	国費・県費	38,011	39,900	38,897					
	市債	24,000	22,300	22,600					
	その他	24,000	22,300	22,600					
	一般財源	99,404	83,420	156,968					
決算(千円)	事業費計	152,814	83,590			主な取組内容【R5】	・東中島地区の配水管更新工事 ・配水管更新工事完成後の舗装復旧工事		
	国費・県費	38,011	31,648						
	市債	24,000	15,300						
	その他	24,000	15,300						
	一般財源	66,803	21,342						
(執行率)	82%	50%							
人役	正規職員	0.8	0.9	0.9		特記事項	一部工事は令和6年度に完成予定のため、令和5年度決算が予算に比べ少なくなっている。		
	その他								
	合計	0.8	0.9	0.9					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	東中島地区配水管の整備延長	目標	9.0	9.0	9.0	9.0	整備中のため、現時点では未達成となっている。		
		実績	5.7	6.7					
	累計で増	km	達成率	63.3%	74.4%				
成果指標	法定耐用年数超過管路率	目標	35.0以下	35.0以下	35.0以下	35.0以下	整備中であり、年々老朽化が進むため、未達成となっているが、指標値悪化の抑制につながっている。		
		実績	39.3	39.5					
	累計で減	%	達成率	93.4%	93.1%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画的に更新を進めており、毎年度着実に実績をあげているため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	計画的に事業を進めることで、成果が上がっているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)施設更新・改良事業(水道整備課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51211		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		根拠法令	水道ビジョンまつやま2019			
政策	快適な生活基盤をつくる						
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の建設改良						
目的・背景	水道施設は、老朽化に伴い突発的な故障が発生するおそれがあることから、安定給水を確保するため計画的に更新・改良を行う。						
対象・内容	上水道施設の更新・改良を行う。 ・更新・改良に伴う測量設計等の委託を実施 ・更新・改良工事を実施						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	取水施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	267,710	59,800	79,420					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	267,710	59,800	79,420					
決算(千円)	事業費計	64,840	0			特記事項	関連工事の進捗状況にあわせて、発注時期を見直したため。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	64,840							
	(執行率)	24%	0%						
人役	正規職員	0.8	0.0	0.3					
	その他								
	合計	0.8	0.0	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	取水堰の更新・改良に伴う工事等完了件数	目標	2	1	1	1	関連工事の進捗状況にあわせて、更新・改良を行う必要があるため、未達成となっている。	
		実績	1	0				
	現状維持	件	達成率	50.0%	0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	関連工事の進捗状況にあわせて、次年度以降の工事着手となったが、全体の計画としては概ね順調であるため。						
課題	関連工事との調整を強化する必要がある。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	関連工事の進捗状況にあわせて、施設の更新・改良を実施していく必要があるため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
51211								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-		
施策	上水道等の整備							
主な取組	上水道等の建設・維持	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019					
取組みの柱	施設の建設改良							
目的・背景	国・県・市が施工する道路や下水道等の工事で水道管が支障になる場合に移設工事を行う。							
対象・内容	水道管の整備を行う。 ・管路整備に伴う測量設計等の委託を実施 ・管路整備工事を実施							

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	配水施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	道路改良等に伴う整備		166,527
予算(千円)	事業費計	895,208	1,125,533	870,293					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	895,208	1,125,533	870,293			松山駅周辺土地区画整理事業に伴う整備		99,961
決算(千円)	事業費計	518,243	475,948			【R5】	・道路改良等に伴う管路移設工事 ・更新等に伴う配水管網整備工事 ・松山駅周辺土地区画整理事業に伴う配水管整備工事		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	518,243	475,948						
	(執行率)	58%	42%						
人役	正規職員	3.7	4.0	3.1		特記事項	一部工事は令和6年度に完成予定のため、令和5年度決算が予算に比べ少なくなっている。		
	その他								
	合計	3.7	4.0	3.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	依頼に基づく管路移設工事発注率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	依頼に基づき、速やかに工事発注を行ったことで達成できた。		
		実績	100.0	100.0					
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道路の新設・改良や下水道工事等に伴い、必要な水道管の整備を行ったため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	関連機関と連携しながら事業を進めることで、成果が上がっているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・中島)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
51211		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		-	-	-	-		
政策	快適な生活基盤をつくる	根拠法令						
施策	上水道等の整備							
主な取組	上水道等の建設・維持							
取組みの柱	施設の建設改良							
目的・背景	国・県・市が施工する道路等の工事で水道管が支障になる場合に移設工事を行う。							
対象・内容	水道管の整備を行う。 ・管路整備に伴う測量設計等の委託を実施 ・管路整備工事を実施							

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道資本的支出	項	簡易水道建設改良費	目	配水施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	5,060	4,830	5,060					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,060	4,830	5,060					
決算(千円)	事業費計	3,862	0			主な取組内容【R5】			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,862							
	(執行率)	76%	0%						
人役	正規職員	0.1	0.0	0.1		特記事項	一定額を予定していたが、対象工事が発生しなかったため。		
	その他								
	合計	0.1	0.0	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	依頼に基づく管路移設工事発注率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	対象工事が未発生		
		実績	100.0	-					
	現状維持	%	達成率	100.0%	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	その他							
	理由	対象工事が発生しなかったため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	対象となる工事が発生した場合は、関連機関と連携しながら事業を進めていく。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・北条)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51211		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		-	-	-	-	
政策	快適な生活基盤をつくる	根拠法令					
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の建設改良						
目的・背景	国・県・市が施工する道路等の工事で水道管が支障になる場合に移設工事を行う。						
対象・内容	水道管の整備を行う。 ・管路整備に伴う測量設計等の委託を実施 ・管路整備工事を実施						

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道資本的支出	項	簡易水道建設改良費	目	配水施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	3,036	3,040	3,040					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,036	3,040	3,040					
決算(千円)	事業費計	0	0			主な取組内容【R5】			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員	0.0	0.0	0.1		特記事項	一定額を予算化していたが、対象工事が発生しなかったため。		
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	依頼に基づく管路移設工事発注率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	対象工事が未発生		
		実績	-	-	-	-			
	現状維持	%	達成率	-	-	-		-	
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	その他							
	理由	対象工事が発生しなかったため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	対象となる工事が発生した場合は、関連機関と連携しながら事業を進めていく。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(工水)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51211		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令					
政策	快適な生活基盤をつくる						
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の建設改良						
目的・背景	国・県・市が施工する道路等の工事で工業用水道管が支障になる場合に移設工事を行う。						
対象・内容	工業用水道管の整備を行う。 ・管路整備に伴う測量設計等の委託を実施 ・管路整備工事を実施						

2. 事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	資本的支出	項	工業用水道建設改良費	目	送水施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	12,186	9,459	89,846					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	12,186	9,459	89,846					
決算(千円)	事業費計	0	0			特記事項	一定額を予算化していたが、対象工事が発生しなかったため。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員	0.0	0.0	0.3					
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	依頼に基づく管路移設工事発注率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	対象工事が未発生	
		実績	-	-				
	現状維持	%	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	その他						
	理由	対象工事が発生しなかったため。						
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	対象となる工事が発生した場合は、関連機関と連携しながら事業を進めていく。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	池田 哲也	リーダー	大森 亮助	担当	杉本 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)漏水防止対策事業(水道整備課分)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
53323								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する			-	-	-	-	
施策	節水型都市づくりの推進							
主な取組	水資源の有効利用		根拠法令	水道ビジョンまつやま2019				
取組みの柱	漏水防止対策							
目的・背景	本市では、水資源の有効活用の観点から漏水防止を有効な手段と位置付けている。そうした中、引き続き適正な給水圧を維持するため、水圧調整局の更新を行う。							
対象・内容	水圧調整局の更新を行う。 ・水圧調整局更新工事に伴う測量設計等の委託を実施 ・水圧調整局更新工事を実施							

2.事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	配水施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	5,225	5,225	0		主な経費 (千円) 【R5 決算】			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,225	5,225						
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な取組 内容 【R5】	・西部水圧調整局等建屋建築設計委託		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
(執行率)	0%	0%							
人役	正規職員	0.0	0.1	0.0		特記 事項	自己設計に変更したため。		
	その他								
	合計	0.0	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	水圧調整局更新工事等 完了件数	目標	1	1	-	2	令和7年度に実施予定の工事に伴う委託を実施したため、達成できた。	
		実績	0	1				
	現状維持	件	達成率	0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	関連工事の進捗にあわせて更新する必要がある、関係機関と連携しながら進めているため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	関連機関と連携しながら事業を進めているため。	